

第33回マリンボールカップ男子 Cコート決勝 8月4日(土)

瀬戸ヶ谷ミニバスケットボールクラブ(横浜中部) 33 VS 67 南部選抜(横浜南部)



- 1Q 南部選抜オールコートマンツーマン、瀬戸ヶ谷ハーフマンツーマンでスタート。
南部選抜#4(一百野)と瀬戸ヶ谷#9(内田)のセンター陣の得点でお互いスタート。
南部選抜は、リバウンドからの早いパス回しで速攻のリズムをつかみ4分間で14得点。
対する瀬戸ヶ谷は、#5(荒武)、#6(中村)のドライブや外角シュートで応戦するもなかなか得点できず。南部選抜は、#6(青木)のパスカットからのドリブルシュートで加点。
続いてディフェンスではチャージングをとり相手のリズムを崩し南部選抜22得点、瀬戸ヶ谷10得点で1Q終了。
- 2Q お互いディフェンスは変わらず。南部選抜#16(ソロモン)の外角シュートでスタート。パス回しから積極的に1対1をしかけ攻めのリズムを作る。瀬戸ヶ谷も#12(治)の1対1からのバスカン、#15(伊郷)の外角シュートなどで得点するも点差は縮まらず。2Qは、両者ともにドライブ、外角シュートの得点で互角の戦い。前半は、30-19の南部選抜リードで終了。
- 3Q 立ち上がり南部選抜#11(石神)のポストプレー、パスカットからのドリブルシュートでファウルを誘いフリースロー。流れを引き寄せる。瀬戸ヶ谷#13(山部)のドライブシュートはファウルを誘いフリースロー。何とかリズムをつかみたいところだが、あせりからパスミスが続く。ターンオーバーがひびき3Qは8得点。残り1分で攻守切りかえの速さで更に得点を重ねた南部選抜は13得点。16点リードで3Q終了。
- 4Q 瀬戸ヶ谷#6(中村)のドライブシュートで4Qスタート。
インサイドは高さに阻まれ、得点できず苦しい展開。何とか反撃したい瀬戸ヶ谷は#6(中村)が積極的にドライブをしかけるがやはり思うようにシュートが打てない。外角シュートを打つが、リバウンドを南部選抜に拾われ速攻を展開されてしまう。
南部選抜は、速いパス回しからポストにつなぎセンター陣がきっちりゴール下シュートを決める。残り3分は、高さスピードに勝る展開で南部選抜が連続ゴールし4Qで24得点。
67-33で南部選抜が快勝。